

同窓会報

第十七号

編集 千葉北高等学校
発行 同窓会事務局
印刷 (有) 宮坂印刷

OB紹介 動物園人として

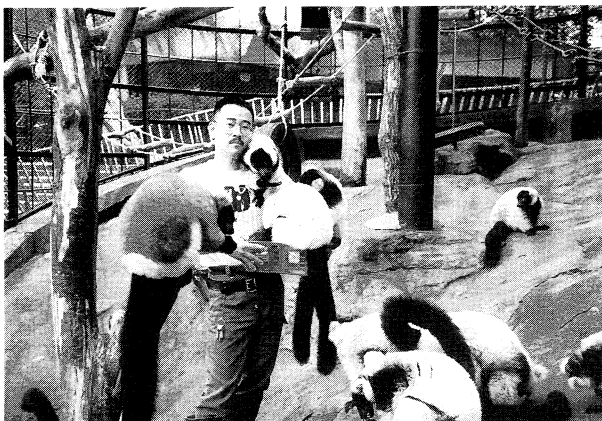
八期生 石和田、研一

昭和六十年に北高を卒業し、高校生の頃より夢見ていた、動物園の飼育係になって八年半になります。高校の時、写真部に籍をおき、上野動物園へよく写真を撮りに行っていたのが、この職に就くきっかけとなったのです。

東京農業大学を卒業後、平成元年に横浜市立野毛山動物園に就職しました。大学四年の時、学芸員の実習として、千葉市動物公園で二週間程お世話になったことがありました。実際、野生動物と間近に接したのは、この時が初めてでしたが、自分が考えていた程案ではなく、肉体力労働が中心でした。自分が同業者となった今考えると、実習生が来た時には、若い労働力として使う事が多い様です。

就職する年は、千葉市動物公園の採用がなく、横浜も募集はなかったの一名でした。前後の年は千葉でも採用があり、大学の先輩と後輩が就職しました。家から近い千葉が良かったのですが、就職浪人もしたくなかったので、運良く入れた横浜市にお世話になる事になったのです。

私の働いている野毛山動物園は、横浜市が直営で管理していて、入園料は何と無料なのです。ですから私達職員は、地方公務員となります。全国にはこの様に地方公共団体が管理しているものと、民間のものがあります。民間の代表格にサファリパークがありますが、入園料は高額です。動物の維持費、職員の給与等を入園料で賄うので仕方のない事なのですが、なかには潰れてしまう所もあります。自治体が運営している所は、税金でそれらをまかなっている為、無料で市民の皆様に開放したり、数百



飼育係になってから8年半世話をしている、マダガスカル島産の原猿類、エリマキキツネザルへの給餌風景。

円の入園料でやっていけるのです。飼育係の一日は、動物の確認に始まり、確認に終わると言っても過言ではないのです。野生動物を飼育するという事は、自然界から大切な命を預かり、まかされている事ですから、日曜、祝日も基本的に出勤で、盆も正月もなく、一年中誰かしら出勤していかないといけないのです。担当している動物が健康に生活している事が、私達の仕事の最低条件なのです。よく動物は嘘をつかないと言いますが、実は嘘をつきます。というのは、野生下では弱ったものから狙われます。ですから出来る限り、自分の弱点は見せない様になります。これは飼育下でも同じで、私達が

発見出来た頃には、既に手遅れとなってしまう事がよくあります。日常の様子をよく観察する事が基本中の基本で、餌の食べ具合、糞の状態、行動や姿勢等細かくチェックし、動物の異常の早期発見に努めます。これは発情、交尾、妊娠、出産といった一連の繁殖行動の確認にもつながる事なのです。

飼育係の仕事というと、餌を与えて掃除をする事位しか思い浮かばないかも知れませんが、それは基本中の基本であり、実の仕事はそれ以外に沢山あるのです。現在は野生下から動物を導入する事は殆どなく、飼育下で繁殖した個体を導入するのが主流なのです。国内のみならず、諸外国の動物園とも取引をします。当然英語でのやり取りになりますし、色々な法律の問題も出て来ます。現に日本では導入困難な希少種を、ヨーロッパから導入した事もあります。

その他、飼っている動物の勉強もしますが、詳しい文献は英語のものが多くのが悩みの種です。しかし、いとらしい動物達のためなら、日夜回転の悪い頭を酷使し、少しでも動

物達が快適に暮らし、長生き出来る様、支えているのです。

動物を飼育していると、きっと一般の人より多く嬉しい事や、悲しい事も経験すると思います。嬉しい事は、やはり担当動物が繁殖し、子供が順調に大きく育って行く事です。そして逆に悲しい事は、死です。人間より長生きする動物は、殆どいないので、命あるものが死んで行くのは当然の事です。慣れるまでは責任を感じ、自分には向いていないのではと、この仕事を辞めてしまおうとよく思いました。中でも自分が母親代わりになり、数時間おきにミルクを与えて育てた、人工哺育の個体がい死んだ時には、なかなか立ち直れなかった事を思い出します。しかし、そんな底の状態から立ち直らせてくれるのも、やはり動物達なのです。言葉では表現出来ないだけに、言葉では表現出来ない、不思議な関係になってしまうのかも知れません。

今秋から現在建設中の新動物園へ出向し、これまで日本では飼育された事のない、珍獣と言われている種を飼育する事が決まっています。貴重な命を預かる者として、少しでも早く日本の環境に慣れさせてもらい、二世の誕生に貢献出来る様、これからも頑張りたいと思います。

(横浜市泉区在住)

第20回 同窓会総会の記録から



去る五月二十五日(日)千葉北高校セミナーハウス「北友館」において、第二十回定期総会が行われ、活動報告とともに会計報告が行われました。

総会には岡澤校長ほか林・関本両名誉顧問の出席がありました。平成八年度活動報告では、「基

本方針」の(1)同窓会長期活動計画の樹立・(2)母校への側面的支援を図る・(3)外郭団体との協調を図る・以上三点を軸に、(1)同窓会財政見直しとムダのない活動の展開・(2)同窓会報の内容充実・(3)OB会との連携と事務の円滑な運営・を「八年度重点目標」としました。

五月十一日(土)には幹事会・OB会連絡協議会を北友館で、五月二十六日(日)は第十九回定期総会を同じ北友館で行いました。七月十九日(金)には同窓会報発刊、十一月十六日(土)第二回目の幹事会・OB会連絡協議会開催、三月六日(木)第二十期生入会式を執り行いました。

平成八年度決算について、収入の部では一般会計の会費収入一七〇万一千円・繰越金四〇万二六〇二円・雑収入(預貯金利息)六九三四円・計二一五五五六円、特別会計(同窓会特別活動基金)では繰越金六八万三〇三円雑収入(預貯金利息)三二万四五三三円・計七一九万四五三三円、合計九三〇万五三七二円となり、予算額より三〇万九千九百七円増となりました。これは会報発行の活動維持基金の入金があったためです。

支出の部では一般会計の事務運営費三九万四千六二七円・事業費一〇六万六四二〇円・慶弔費二四万三千円・同窓会特別活動費二〇万円・予備費一三四七円・計一九〇万五千九百四円となり、差引残額は七〇万九千一百一十円です。

平成九年度活動計画としては、「基本方針」は八年度と同じで、「九年度重点目標」として(4)同窓会員名簿第四版刊行準備・の項目を「八年度重点目標」に加えしました。これは、同窓会員名簿を平成

十年秋頃の予定で発刊するためです。また、九月には同窓会報の発刊や会費管理委員会が予定されています。十一月八日(土)幹事会・OB会連絡協議会を千葉市内で、三月六日(金)第二十一期入会式を千葉北高校で予定しています。

平成九年度予算(案)として、収入の部では一般会計の会費収入一七〇万一千円・繰越金一九万九七〇八円・雑収入(預貯金利息)一千円・計一九〇万一千七〇八円、特別会計では繰越金七一九万四千三六円・雑収入(預貯金利息)一万円・計七二〇万四千三六円、合計九一〇万六千五百四十四円となり、前年度比で一九万三千九百四十四円の減となります。これは、会員数減による会費収入減と繰越金減のためです。

支出の部では、一般会計の事務運営費五万三千円・事業費一〇七万円・慶弔費十五万円・同窓会特別活動費一〇万円・同期会費四万円・予備費一万七〇八円・計一九〇万一千七百八十八円、特別会計事務運営費一〇万円、活動事業費七一〇万四千三百六十六円、合計七二〇万四千三百六十六円となり、前年度比十一万一千三百九十九円の増となります。

以上の活動報告・会計決算については、監査の結果適正と認められ、活動計画・予算(案)は総会において議決されたことを報告します。(事務局)

千葉北高校と私

想い出の北斗祭。 そして今の夢。

元生徒会長 平岡 大雅

僕が北高を卒業してから、一年半が過ぎました。一人暮らしの生活もすっかり定着し、今ではすっかり墮落した生活を送っています。今年はアルバイト一色の生活になっているので、今では別の生活様式を考えなくてはと思っています。その第一弾として、中国への短期留学を考えています。これは、春に行く予定ですが、その前に中国語検定でもとろうかと思っています。

大学生活は、一人暮らしのせいもあって、とても楽しく、高校生だった頃には出来なかったことをして遊び、学んでいます。大学構内でおもちゃのゴルフをやったり、日の出を見るために深夜から高尾山へ登ったり、目的地を決めずに旅をしてみたりと、いろいろなことをしました。ただ、これらのことは学校の友達とやったもので、学校をあげて行ったものは高校にいた時と比べると全く盛り上がりません。北高も昔と比べて行事が減ってしまいましたが、北斗祭や、体育大会はとても楽しかったと覚えています。

僕ははともとお祭り系の行事が好きでした。そのため、北高での一番の思い出は、北斗祭です。北高には合唱コンクールもあったので他校へ行った人よりも幸せだったと思います。

同窓会員名簿・ 第四版を刊行へ

来年（平成十年）秋、新たに名簿を刊行することが、今年度の同窓会総会で決まりました。

同窓会の名簿は、一九七九年に創刊したのをはじめとして、一九八五年と役員・幹事・学校職員の手作りで発行してきましたが、一九九二年、会員数が六四〇〇名を超えたのを機にコンピュータ登録専門業者委託に踏み切りました。

今回も五年間隔を原則として刊行する方針から、平成九年度の活動目標となりました。

委託業者は「リサーチ」ですがこれは業務委託をしていた「EX-21」（本社・大阪）の社長が急逝したことで、業務が円滑に、また信頼関係を損なわないことから「EX-21」側から「リサーチ」（本社・埼玉）を紹介され、登録・変更・新規発行・会員への連絡送付などすべてを従来どおり行えることとなりました。従いまして、今回・第四版の名簿は「リサーチ」が担当いたします。

完成は平成十年秋、その間に住所確認・名簿購入希望調査がお手元に届くと思いますが、よろしくご協力ください。

この名簿についての詳しいことは追ってご連絡をさしあげます。その上で何かご不審の点がございましたら

ら、事務局までお知らせください。
【事務局総務】引地 義教諭
☎〇四三（二五七）二七五三（北高）



六月二十九日（土）、書道部OB会が開かれ、およそ二十名の会員が集まり、なごやかに交流が行われました。（写真）

書道部OB会は昭和五十九年に発足、今年度十三年目を迎えます。初めは北斗祭の展示支援などを活動としていましたが、その後OBが増え交流を中心にする形に変わりました。書道部は昭和五十二年度に発足した「書道同好会」が原点です。そして、第一期生が創部し、のちに解散した「書工芸部」のOBが「書道部OB会」の会員に合流。現在二十期生まで約八十名を数えます。

初代OB会長は、一期生の土屋誠さん（横芝敬愛高校教諭・本校同窓会事務局長）です。

「会が軌道に乗ったのは須田昭仁君（四期生）の努力があればこそです。私は彼にたいへん感謝しています。書道部の顧問も四代目・白井孝先生に変わりましたが、二代の林秀一先生、三代の石井希佳先生とも高校の先輩・後輩という特別な関係が幸いして、交流会も和気藹々です。」と土屋さんは話していました。

今年から会長は八期生の菴木浩幸さん（県立上総高校教諭）に交代されたそうです。

OB会はまだ、部活で培った部員・顧問の人間関係を深める場となっており、近く催される三人の顧問の先生方の書道展「十人展」の折、見学の予定だそうです。お問い合わせは井尻副会長（☎〇四三六一四一一七九八五）まで。

【計報】 元教頭、大沼先生逝去

千葉北高校第二任教頭の大沼栄一先生が去る七月、逝去されました。七十一歳でした。

先生は一九七八（昭和五十三）年四月、九十九里高校から教頭として赴任され、一九八一（昭和五十六）年四月上総高校長に発令されるまでの三年間、本校の新設高校から第二段階へと移り変わる重要な時期の舵取りをなされました。

大沼先生は硬式野球に永年尽力され、千葉県高等学校野球連盟副会長も務められました。本校の野球部の活動にも温かなまなざしを向けられておられたことをご記憶の同窓生も多いことと思います。

先生は今年四月、肺がんを患っていることが検査で判り、入院手術なされ、その後の経過も良好だったそうで、退院を控えた七月容態が急変し亡くなりました。

亡くなる数日前に大沼先生を見舞われた初代校長・宮崎貞次郎先生は、

「たいへん元気で病院の廊下のロビーのソファに座ってしばらく話した。退院すると聞いていたエレベーターまで奥さんと一人で見送ってくれた。」と語ってくださいました。

葬儀は七月十二日（土）に行われましたが、その時点で事務局も事態を知らず、改めて八月十三日に土屋事務局長が同窓会を代表して旧職員・林秀一先生、名誉顧問林常久先生とともに長生村のご自宅へ伺い、お悔やみを申し上げました。ご冥福を心からお祈り致します。

当然ですが、北斗祭は高校生活の中で三度あったので、思い出は一つ一つ異なります。やはり、三年の時にやったものが一番良いものになったと思います。この年は「とりとぶた」という店を出し、焼き鳥と豚汁、焼きおむすびを作り小体育館を借りて、そこに屋台を出して販売しました。北斗祭は合唱コンクールの練習もしなくてはならないので、とりとぶたとの両立はかなり難しいものでした。先生には車を出してもらったり、良い考えを出してもらったりたくさんお世話になりました。

結局、北斗賞と、合唱コンクール三位を獲得しました。北斗祭が終わった時、僕は複雑な気持ちを抱きました。「終わった」という達成感と、「終わった」という寂しさが僕の中を同時に駆け巡ったのです。おそらく皆も感じたことでしょう。

異論もありますが、僕は皆でまとまって何かをすることはとても楽しいことだと思っています。学年が上がるごとに文化祭が楽しくなるという事態はとても寂しいです。一年生の時から北斗賞や合唱コンクール入賞を狙っていたら、もっと文化祭を楽しめるものにしていくと思います。また、それが北高全体を盛り上げていくことにもなっていくと思っています。僕の文化祭での思い出はこんなものです。まだお世話になった先生方に何の連絡もしていないのでそろそろ学校へ行こうと思いますが、北高がどう変わっているのか楽しみです。（法政大学社会学部二年）

北窓

十年程昔の八月二十日午後七時から九時まで、コスタデンソル（太陽の海岸）の中心地マラガ市（スペイン地中海岸）の中央闘牛場でツアー旅行者は滅多に見ることのない闘牛（人と牛との生と死の対決による最も厳肅な儀式……スポーツ）を見るチャンスに恵まれた。たまたま同市はアンダルシア地方に属し（他にグラナダ・コルドバ・セビリア等）回教徒とクリスチャンのリコンキスト（再征服）が成功して最後の拠点であったグラナダをクリスチャンに明け渡したのが一四八七年、丁度五百年前のことであつたので、マラガ市では五百年祭（十七日より十日間）にわきかえつていた。わきかえるといっても日中は暑いので灯ともし頃になるとフラメンコスタイル（ジプシー）の女性がお祭り広場へ向かう人の群れの中にちらほら見かけられ、闘牛帰りに中央広場の噴水のバックに目抜き通りの眼もまばゆいイルミネーションは、さながら光のアーケードと

いった感じで帰途の車窓（バスの）から遠望したお祭り広場のカタドルを型どったイルミネーションの壮大さは筆舌に尽くし難い代物であつた。

入口で貴重品をがっちり抱えて待つこと十数分、その間添乗員の岩田さんが現地ガイドと交渉を繰り返す。その現地ガイド（日本人）が闘牛場入口の人相の良くない係員と交渉のあげく、袖の下をつかったりしてようやく観覧席の下の通



リ・コンキスト 五百年祭の闘牛を見て

第三代校長 林 常久
(現・横芝敬愛高等学校校長)

路を四十〜五十メートル進んで階段を十段程昇った所で又ストップ（幕終わらないと席への動きは禁止とのこと）

ファンファーレと同時に猛（こ）ましい正に猛牛が鼻いき荒く出入口の扉から円形グラウンド（直径七十〜八十メートルの砂地）の舞台に登場、場内を見渡して観衆の拍手を受け、見栄を切る面持、次の瞬間眼に入った闘牛士（四人）目がけて突きかかる。勢い余つてはめ板を二枚も角（かど）にかけて巻き上げる

牛もあれば角をもぎとる豪の牛もある。四人の闘牛士は入れかわりたち代わり突きかかる。牛がさすがに弱りはじめると、中世の騎士スタイルの騎馬（馬腹にプロテクターを当ててある）槍士が二騎所定の件置に歩を進める。闘牛士は牛を巧みに誘導して槍士の騎乗している馬の脇腹めがけて突きかかる。次の瞬間牛の背中（急所か、リボンがつけてある）に長槍の一撃をお見舞する。血が噴きあ

つ早業で突進する牛の急所めがけて突き立てる（正に目にもとまらぬ早業）牛が通りすぎるとひらりと体をかわす。やんやの声援と拍手とどよめきである。

闘牛士はきらびやかな各自手製のユニフォームで観客に会釈して更に花槍を加え、牛の弱り加減を見ながら剣を急所深く差し込み、さしもの闘牛も前膝から崩れ落ち絶命する。

時を移さず二頭の馬が絶命した牛を鎖につなぎ牽引して退場、撒水車が入って撒水、グラウンドの砂を整地して完了、第二舞台に入る。

げ両肩に血がにじんで滴り落ちる。手ごたえあつて二騎（他の一騎は補欠の様で主役がミスした時登場するらしい）は退場する。相当のダメージを受けても今日の目を目ざして鍛えられて来た牛は晴れの舞台での活躍（死にぎわ）を意識しているものの様で死力をふりしぼって闘牛士に突きかかるが、手負いである。主役と覚（おぼ）しき闘牛士（他の三人は脇役）が花槍（花飾りのついた六十〜七十センチのトーチ程の槍）を二度三度二本ずつ早業で突進する牛の急所めがけて突き立てる（正に目にもとまらぬ早業）牛が通りすぎるとひらりと体をかわす。やんやの声援と拍手とどよめきである。

闘牛士はきらびやかな各自手製のユニフォームで観客に会釈して更に花槍を加え、牛の弱り加減を見ながら剣を急所深く差し込み、さしもの闘牛も前膝から崩れ落ち絶命する。

時を移さず二頭の馬が絶命した牛を鎖につなぎ牽引して退場、撒水車が入って撒水、グラウンドの砂を整地して完了、第二舞台に入る。

同窓会活動維持基金

「協力への感謝」

昨年の会報でお知らせした「同窓会活動維持基金」に対し、多くの同窓生からご賛同をいただき、役員・事務局全員うれしい気持ちでいっぱいです。

「活動維持基金」は卒業生の長期減少により同窓会資金が減少することと諸活動が低迷しないようにと役員が発議し、幹事会の協議を経て同窓生に呼び掛けたものです。

この呼び掛けに対し、二十万円を超える反響があり、今後の同窓会活動に少なからず生かされるものと信じています。

「活動維持基金」へのご支援の継続を改めてお願いいたします。

△振込先▽

郵便振替口座

〇〇一九〇一三一九四七四五

千葉県立千葉北高校同窓会

編集後記

最近世間は物騒というか、何とも不可解、不愉快、不真面目な事件が多いことか。それも子供に（が）係わっている事件が――。

不思議な時代になってきたのでしょうか。今号より、大きさと紙面構成を変えて読み物重視の紙面にしてみました。

(健)